SONY

3-275-178-02 (1)

お客様・販売店様・特約店様用

テレビスタンド

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

⚠警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたが示されています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ

テレビスタンドの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備、対応モデル以外でのご使用による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様にお渡しください。

対応モデル 対応モデルについては予告なく変更になる場合があります。
また、いくつかのモデルは在庫切れになっていることがあります。

	SU-FL350M	SU-FL350L
地上・BS・110度CS デジタルハイビジョン 液晶テレビ	KDL-46/40X5050 KDL-46/40X5000 KDL-46/40V5000 KDL-46/40V3000 KDL-40/32J5000 KDL-40/32J3000	KDL-52/46/40X5050 KDL-52/46/40X5000 KDL-52/46/40V5000 KDL-46/40V3000 KDL-40J5000 KDL-40J3000

上記以外のモデルをお使いの場合は、本製品が使用できるかどうかテレビ本体付属の取扱説明書、またはテレビ本体付属の別冊をあわせてご覧ください。

SU-FL350M
SU-FL350L

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災･感電･転倒･落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

お客様へ

警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災･感電･転倒･落下などにより死亡や大けがの原因となります。

取り付けや設置作業は専門業者が行う

テレビおよびスタンドは大変重いので、落下や転倒により打撲や骨折など大けがの原因になります。
取り付けは専門業者にご依頼ください。

注意

転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、スタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。テレビと壁などをつないで転倒防止の処置を行ってください。

注意

堅くて平坦な床面に設置する

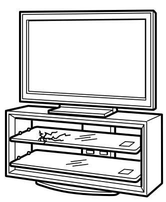
傾いた床面に設置するとスタンドが転倒したり、テレビが落下して大けがの原因となることがあります。畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は、板など堅いものを敷いてください。

禁止

ひび割れが入ったスタンドは使わない

多少のひび割れでも使わないでください。
ガラスが割れたり、テレビが転倒して、大けがの原因になります。

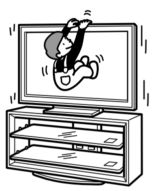
禁止



テレビにぶら下がらない

スタンドが転倒したり、テレビが落下して、大けが、死亡などの原因となることがあります。

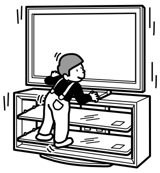
禁止



スタンドの上に乗ったり、棚板の間に入って遊ばない

お子様がスタンドの上に乗ったり、棚板の間に入って遊んだりすると、ガラスが割れる、スタンドが転倒する、テレビが落下するなどの事態が発生し、大けがや死亡の原因となります。

禁止



スタンドを踏み台にしない

落ちたり、ガラスを割ったりして、けがの原因となります。

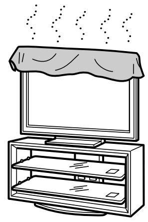
禁止



テレビの通気孔をふさがない

テレビの上に布をかけて通気孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

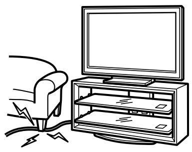
注意



テレビの電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

- テレビをスタンドに取り付けるときは、電源コードおよび接続ケーブルをはさみこまないようにする。
  電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。
- スタンドを動かすときは、電源コードおよび接続ケーブルを踏まないようにする。
  電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。

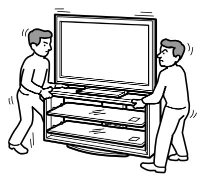
禁止



テレビを取り付けたままや、接続機器を収納したまま移動させない

テレビを取り付けたまま移動させると、腰を痛めたり、スタンドが転倒して、大けがの原因となります。また、接続機器の落下により、ガラスが割れたりして、破損の原因にもなります。

禁止



⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

対応モデル以外のものを取り付けない

- このスタンドは対応モデル専用です。対応モデル以外のものを取り付けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。
- 対応モデル以外のもの(陶器や花瓶など)は置かないでください。
- スタンドの分解･改造は行わないでください。
- 熱いものを直接スタンドに置かないでください。熱により変色、変形することがあります。
- ガラスに傷をつけるようなものを直接置かないでください。

テレビを固定する

付属のネジでテレビをスタンドに固定してください。固定しないと、スタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

体重をかけたり、硬いものをぶつけない

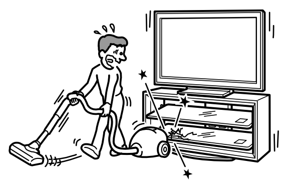
テレビを取り付けるときに、スタンドに手をついて体重をかけたり、ドライバーなどの硬いものをぶつけたりしないように注意してください。
ガラスが割れたりしてけがの原因になることがあります。

テレビを動かすときのご注意

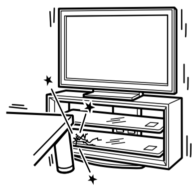
無理に動かそうとすると、腰を痛めたり、足をけがしたりする原因になりますので、下記のことをお守りください。

- スタンドを動かすときは、必ずテレビや接続機器、ガラス棚板をはずしてから、2人以上で行う。
- スタンドを引きずらない。スタンド底面の部品がはずれて、床に傷がつくおそれがあります。
- スタンドを動かすときは、手足を底板にはさまないように注意する。
- スタンドを動かす時は、ガラス部分を持たない。

ガラスに強い衝撃を与えない



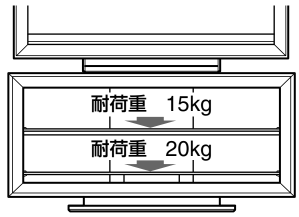
スタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。
割れると、けがの原因となりますので下記のことをお守りください。



- ものをぶつける、先端のとがったものを落とすなど、強い衝撃を与えない。
- 鋭利なもので傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。
- 掃除機など、硬いものをガラスの端面に当てない。

総積載量についてのご注意

ガラス棚板には、それぞれ図に示す質量以上のものを載せないでください。
ガラス棚板が割れることがあります。



設置上のご注意

- 組み立てるときは、床に傷がつくのを防ぐため、梱包材などを敷いてください。
- 設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
  - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
  - 高温多湿の場所や屋外に置かない

使用上のご注意

お手入れをする際には、やわらかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を水で薄め、やわらかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はスタンドの仕上げを痛めることがありますので、使わないでください。

これ以降の取り付け・設置手順は販売店様・特約店様用です。

販売店様・特約店様用

先に示した安全上のご注意をよくお読みのうえ、取り付けや設置・保守・点検・修理などを安全に行ってください。

設置は2人以上で行う

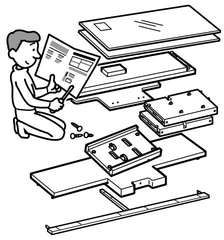
テレビをスタンドに取り付けるときは、2人以上で行ってください。
1人で行うと腰を痛めたり、けがの原因となることがあります。
また、設置するときは、お子様が近づかないようにしてください。

注意

組み立て手順に従って、しっかりと組み立てる

ネジがゆるんでいたり抜けていると、スタンドが傾いて転倒し、落下による大けがや破損の原因となることがあります。

注意



組み立てるときには、手や指を傷つけないように注意する

スタンドを組み立てるときや、テレビを取り付けるときには、手や指を傷つけないようにご注意ください。

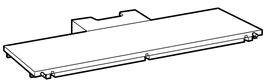
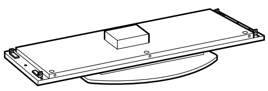
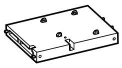
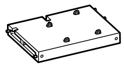
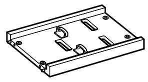
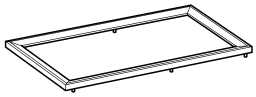
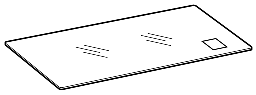
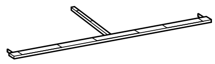
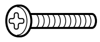
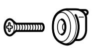
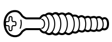
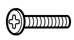
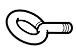
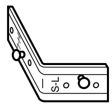
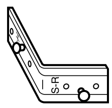
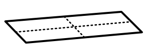
注意

取り付け手順に従って、テレビをしっかりと取り付ける

ネジを確実に締めてください。
テレビがしっかり取り付けられていないと、テレビが落下し、けがの原因となることがあります。

注意

手順1：部品を確認する

名称		数量
天板 		1
底板 		1
側柱（L）*1 		1
側柱（R）*1 		1
後ろ柱 		1
フロントパネル 		1
ガラス棚板 		2
中段フレーム 		1
ネジ（＋PWH5×25） 	a*2	10
ネジ（＋K4×20）＋スリーブ 	b*2	2
カムロックネジ 	c*2	4
ネジ（＋P4×15） 	d*2	4
転倒防止用アンカーボルト 	e*2	2
ネジキャップ 	f*2	3
スピーカーフック（L） 		1
スピーカーフック（R） 		1
型紙 		5*3
テープ 		1
＋ドライバー 		1

*1 上記のイラストはSU-FL350Mのもので、SU-FL350Lとは異なります。SU-FL350Lの側柱には切り欠き部分が2箇所あります。
*2 部品袋にアルファベットが記載されています。
*3 テレビのモデルおよび画面サイズ別に型紙が5枚付属しています。

プラスドライバーを準備してください。ただし、ガラス棚板の固定には付属の+ドライバーを使用してください。

手順2:テレビスタンドを組み立てる

⚠警告

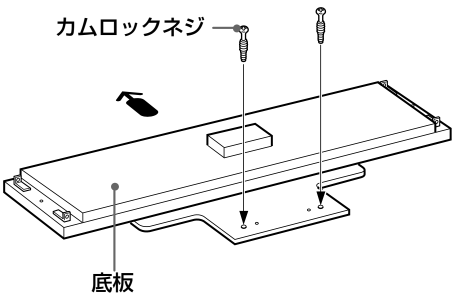
機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。また、電源コードや接続ケーブルを引っかけると、転んだりスタンドが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビの設置場所を決め、あらかじめテレビスタンドを置く。

テレビは重いので、取り付ける前に場所を決め、スタンドを組み立ててください。

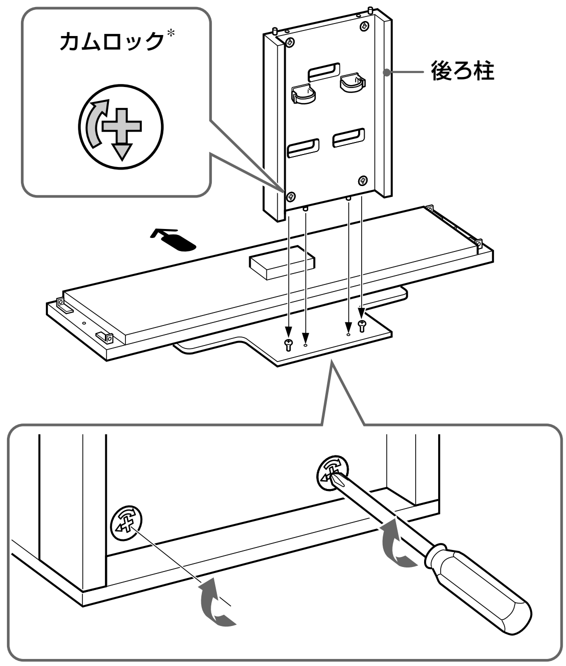
1 後ろ柱を底板に取り付ける。

❶ 付属のカムロックネジ2本を底板にしっかりと締め付ける。



矢印は正面方向を示します。

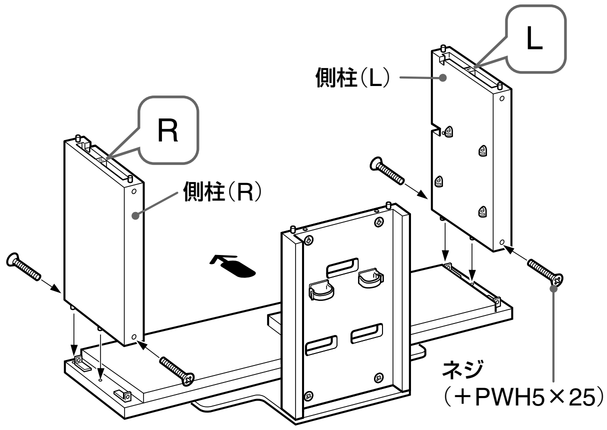
❷ 後ろ柱を底板に取り付け、カムロック2箇所をドライバーで締める。



＊ 後ろ柱を取り付ける前に、▽マークが下に来ているか確認してください。

2 側柱を底板に取り付ける。

側柱と底板を付属のネジ(＋PWH5×25)4本でネジ留めする。



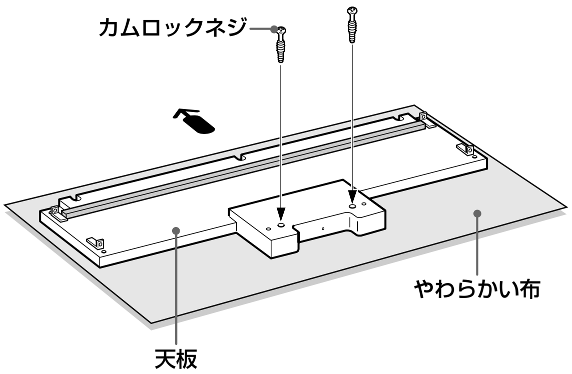
ご注意

左と右の側柱は形状が異なります。正しい向きに取り付けてください。

次のページにつづく ⇨

3 天板を取り付ける。

❶ 付属のカムロックネジ2本を天板にしっかりと締め付ける。



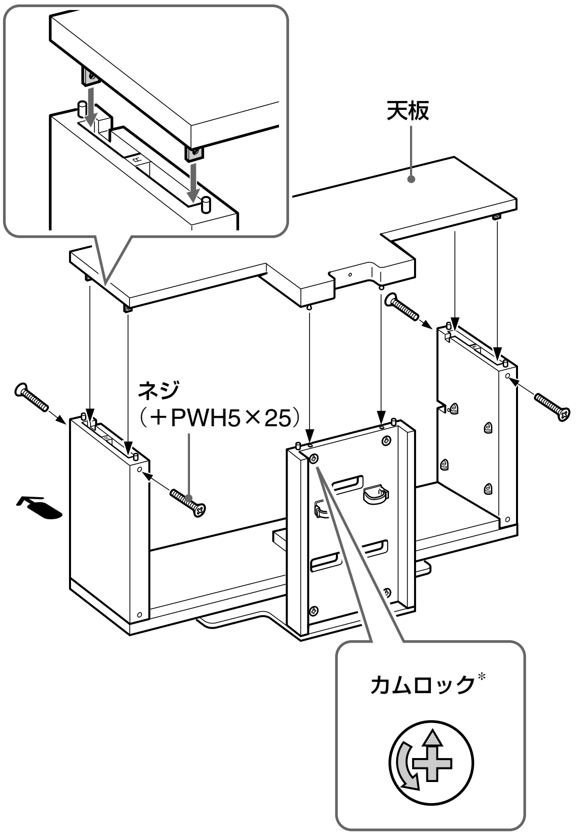
上記のイラストはSU-FL350Mのものです。
SU-FL350Lの天板には補強バーが2つ付いています。

ご注意

天板の光沢面を傷つけない為に、異物が無いことを確認しやわらかい布などを敷いて作業してください。

❷ 天板の両側についている金具を側柱に合わせてはめ込む。

❸ 側柱を付属のネジ（＋PWH5×25）4本でネジ留めし、後ろ柱の残りのカムロック2箇所を締める。



＊ 天板を取り付ける前に、∆マークが上に来ているか確認してください。

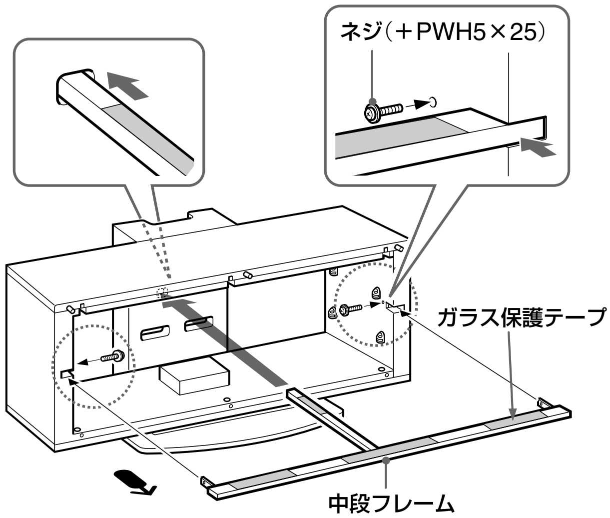
ご注意

天板を取り付けるときは、指をはさまないように注意してください。

4 中段フレームをスタンドに取り付ける。

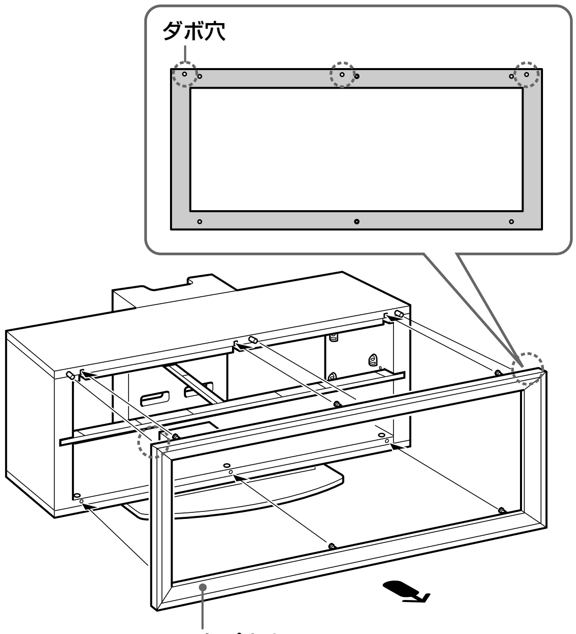
❶ 中段フレームのガラス保護テープが付いている方を上にし、中段フレームの両側を側柱の切り欠きに合わせてはめる。

❷ 付属のネジ（＋PWH5×25）2本で側柱に固定する。

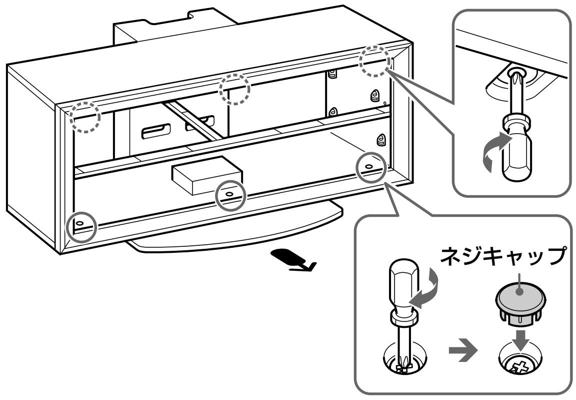


5 フロントパネルをスタンドに取り付ける。

❶ スタンド側の3箇所のダボとフロントパネル側の３箇所のダボ穴をあわせる。



❷ 天板と底板にある6箇所のカムロックを右に回し、フロントパネルを固定する。下側の3箇所のネジにネジキャップをはめる。



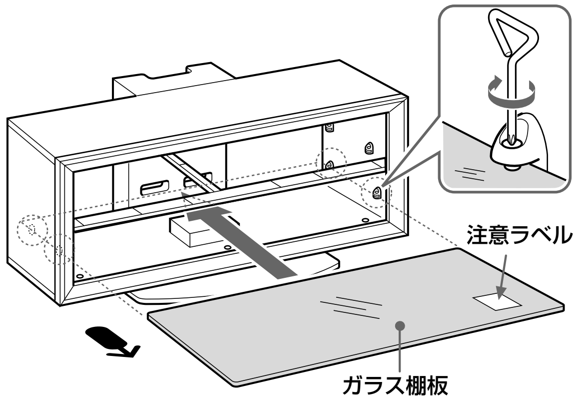
ご注意

フロントパネルを正しい向きに取り付けてください。

6 ガラス棚板を取り付ける。

センタースピーカーを取り付ける場合は、付属のスピーカーフックを先に取り付けてください。（次ページの「センタースピーカーを取り付けるとき（ホームシアターシステムDAV-DZ220をご使用のとき）」をご覧ください。）

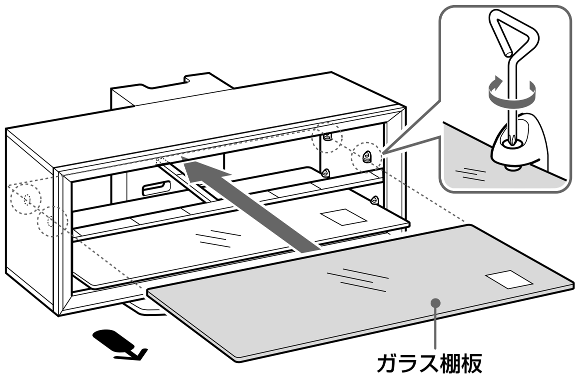
❶ 下の段にガラス棚板を後ろ柱に当たるところまで挿入し、付属の＋ドライバーで側柱のネジ4箇所を固定する。



ご注意

ガラス棚板を取り付けるときは、図のように注意ラベルが右手前にくるように取り付けてください。

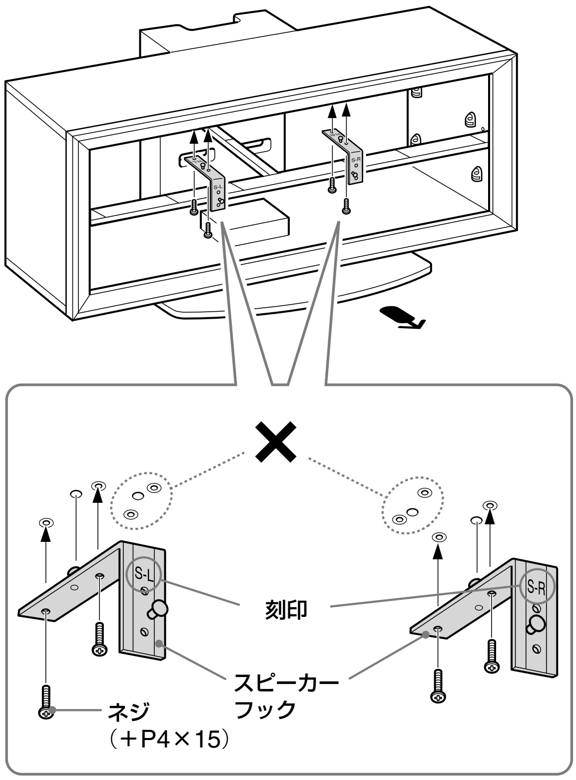
❷ 上の段にガラス棚板を後ろ柱に当たるところまで挿入し、付属の＋ドライバーで側柱のネジ4箇所を固定する。



次のページにつづく ⇨

センタースピーカーを取り付けるとき（ホームシアターシステムDAV-DZ220をご使用のとき）

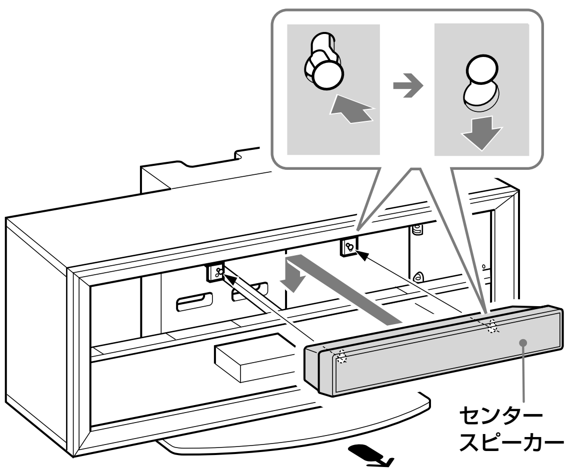
❶ スピーカーフックを取り付ける。
スピーカーフックを付属のネジ（＋P4×15）（左右各2本ずつ）で天板の裏側に取り付ける。



ご注意

- S-L、S-Rの刻印が前面になるように取り付けてください。
- S-Lの刻印は左側に、S-Rの刻印は右側に取り付けてください。
- 天板の裏側にある取り付け穴で、内側の方は使用しません。

❷ センタースピーカーを取り付ける。



手順3：テレビの取り付け準備をする

1 スリーブを天板に取り付ける。

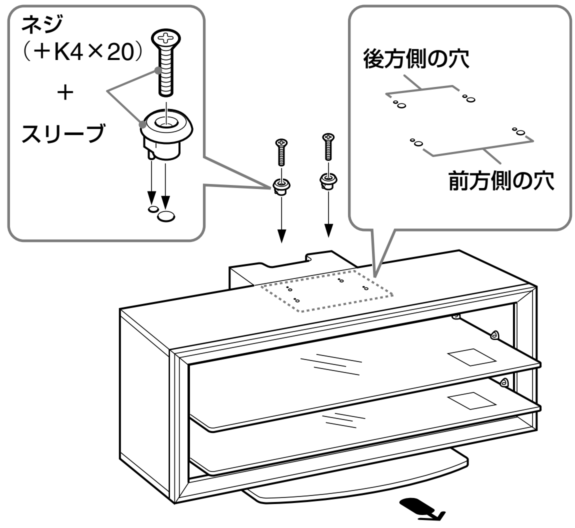
付属のネジ(+K4×20)でスリーブを取り付けます。

表紙に記載のない対応モデル：
前方側の穴に取り付けてください。
表紙に記載のある対応モデル：
スイーベル機能*付きのテレビの場合は後方側の穴に、スイーベル機能のないテレビは前方側の穴に取り付けてください。

ご注意

スイーベル機能付きかどうかは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

* テレビ画面の向きを左右に調整できる機能。

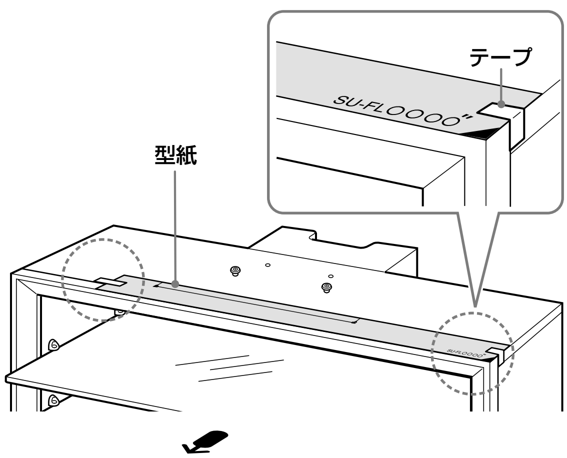


2 天板に付属の型紙を貼る。

❶ 付属の型紙を選び、型紙の右角と天板の右角を合わせる。

表紙に記載のない対応モデル：
テレビ本体付属の別冊をご覧になり、対応する型紙をお選びください。
表紙に記載のある対応モデル：
画面サイズに合った黒文字の型紙をお選びください。

❷ 付属のテープで型紙を天板に貼り付ける。

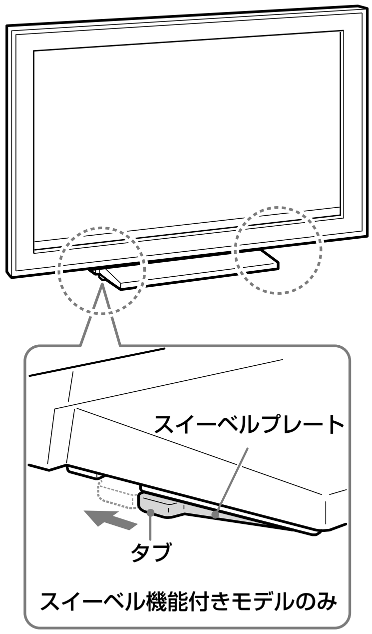


手順4:テレビを取り付ける

テーブルトップスタンドがテレビに付いていない場合は、取り付けてください。
表紙に記載のある対応モデルでスイーベル機能がある場合のみ、手順4-1のスイーベル調整を行ってください。

1 スイーベルプレートの位置を中央に調整する。（スイーベル機能付きモデルのみ）

テレビを取り付ける前にスイーベルプレートのタブをテーブルトップスタンドの切り欠きに合わせてください。



⚠警告

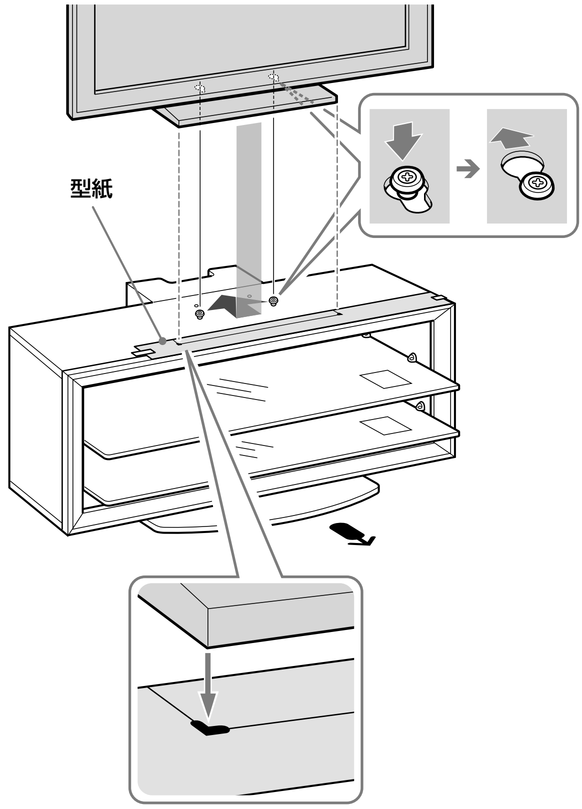
スイーベルプレートを正しく調整しないと、テレビを安全に取り付けることができず落下する可能性があります。

2 テレビをテレビスタンドに取り付ける。

❶ 手順3-1で取り付けたスリーブとテーブルトップスタンドの裏側にある穴を合わせるため、型紙に描かれた画面サイズの外形線とコーナーマークに沿ってテーブルトップスタンドを置く。

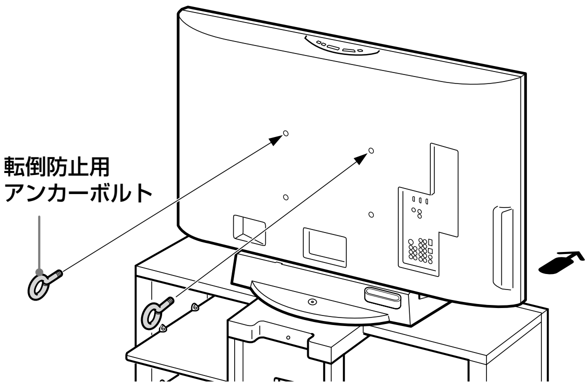
❷ テレビを後ろにスライドさせて固定する。

❸ 天板から型紙をはずす。



3 転倒防止用アンカーボルトを取り付ける。

付属の転倒防止用アンカーボルト2本をテレビ後面に締め付ける。



ご注意

転倒防止用アンカーボルト２本を使用しないと、テレビが落下し、けがの原因となることがあります。

手順5：転倒防止の処置をする

⚠警告

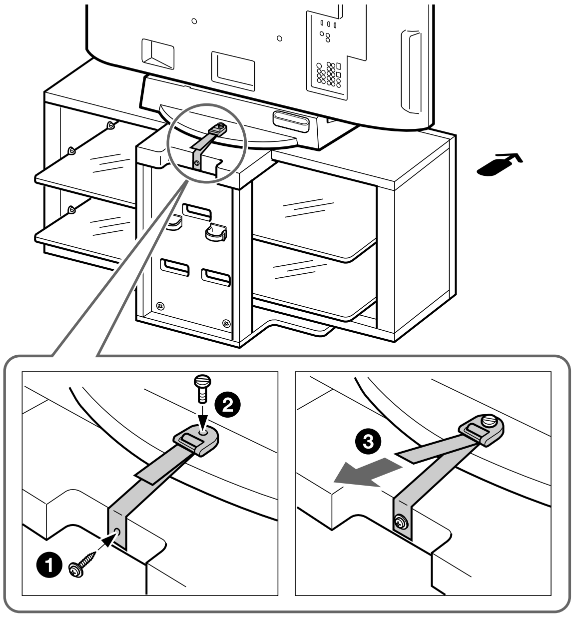
転倒防止の処置をしないと、スタンドが転倒して、大けがの原因となることがあります。転倒防止の処置を行ってください。

1 転倒防止用ベルトを取り付ける。

❶ 木ネジ（テレビ側に付属）などで、転倒防止用ベルト（テレビ側に付属）をドライバーを使ってしっかりとスタンドに留める。

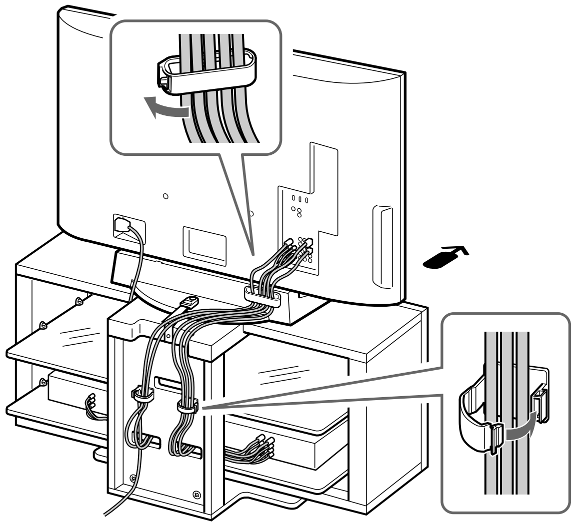
❷ 転倒防止用ベルトをテーブルトップスタンドにはめ込んで、コインなどを使って取付用ネジ（テレビ側に付属）でしっかりと留める。

❸ テレビのテーブルトップスタンド部分を手で押さえながら、ベルトを手前に引き、長さを調節する。



2 電源コードおよび接続ケーブルをテレビにつなぐ。

ケーブル類をつなげたら、ケーブルホルダーでまとめて後ろ柱後面に収めてください。



ご注意

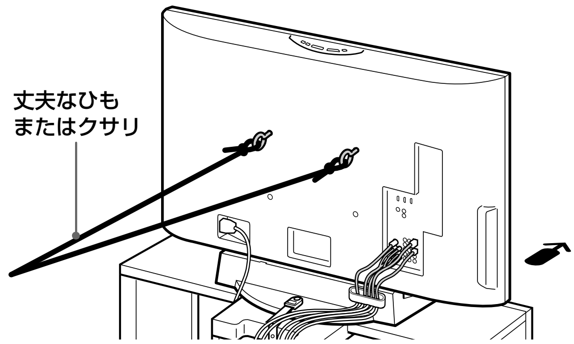
ケーブル類が正しく収められていないと、はさまって傷つき火災や感電の原因となります。

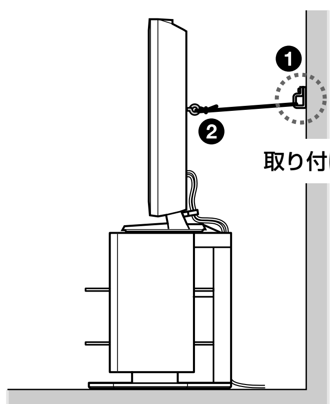
3 テレビを壁に固定する。

あらかじめ市販の丈夫なひもまたはクサリと、壁につなぐための取り付け具をご用意ください。

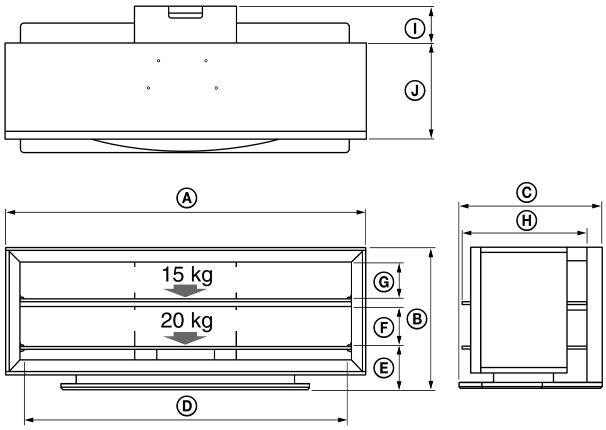
❶ しっかりした壁に取り付け具を固定する。

❷ 転倒防止用アンカーボルトの穴にひもやクサリなどを通して、壁側の取り付け具にしっかりとつなぐ。





主な仕様



積載量についてのご注意

ガラス棚板には、指定の質量以上のものを載せないでください。指定の質量以上のものを載せると、ガラス棚板が割れ、破片が飛び散るなどして、けがの原因となることがあります。

		SU-FL350M	SU-FL350L
寸法(mm)	Ⓐ	1,035	1,280
	Ⓑ	503	503
	Ⓒ	485	518
	Ⓓ	895	1,140
	Ⓔ	134	134
	Ⓕ	150	150
	Ⓖ	140	140
	Ⓗ	418	468
	Ⓘ	120	130
	Ⓙ	272	340
質量(kg)		42 kg	62 kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは
ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥ 0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2511

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「999」＋「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389
受付時間 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in Thailand